

学校再編整備（前期概ね5年程度）に関する説明会 質疑応答一覧

東部地区住民、保護者等への説明会（令和6年2月18日開催）

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・新校の設置場所は、東部小学校とのことだが、小中一貫校が開設できる敷地面積なのか。また、運動場の面積は、部活動や行事に支障ないのか。 できるだけ早く開校してほしい。 ・東部小学校に建設する際には、授業時の騒音対策や学校生活および通学時の安全確保の観点から、工事の2年間は、金山小学校や西庄小学校へ分散登校させることは考えないのか。 ・小中一貫校の前例として県内や他県に視察には行ったことがあるのか。 ・視察の中で、工事期間中の児童生徒の安心安全への対応策も見てきたのか。 ・中学校の制服を変更するアンケートを実施していると聞いたが、説明してほしい。 ・坂出中央幼稚園や東部小学校周辺の土地を学校用地として、拡張する予定はあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国の定めた設置基準は、小学校、中学校ともに満たしている。 ・狭い面積なので、R6年度に学校の計画作成について、経験豊富な民間事業者の知恵を活用して、建設基本計画の策定することとしている。その計画を基に設計業務を行っていくことを考えている。 ・工事期間中、仮設校舎を建てるべきかどうか、仮設校舎を建てるならどこが適切かといった事項を含めて、児童が安心安全に学ぶ場所についても、建設基本計画の策定の中で検討していきたい。 ・県内では、高松市の高松第一学園、東かがわ市の白鳥小中学校、県外では、高知県の宿毛小中学校、大阪府の守口市さつき学園を視察している。 ・視察に行った学校それぞれで、状況は異なるので対応策も異なる。本市では、児童生徒の安心安全への対応策を、仮設校舎の必要性の有無を含めて、基本計画の策定の中で検討していきたい。 ・坂出中学校、東部中学校、白峰中学校の3中学校の制服を機能性や多様性の観点からブレザー型の採用を前提に検討しており、アンケートは、ズボン・スカートについて、無地かチェック柄かを決めるために行っている。 R7年4月からの採用を目標に新1年生から採用することとし、3年間の移行期間を設けることとしている。 ・現時点では、敷地にすることを前提としては考えていない。現東部小学校の敷地で建設することとしており、拡張を前提では考

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> • 基本計画策定業務のプロポーザルへ参加を表明しそうな業者はいるのか。 • 体育館は建替える予定か。 • スケジュールは現実的なものとして立てているのか。 • 次の説明会は、いつ頃開催されるのか。 • 建設施工業者の選定基準は決めているのか。 • 他の小中一貫校を視察して何を良い所と感じたか。 • 坂出市には、4つの高等学校があるが、影響を考えているのか • 3校（4校）が1校になり、学校としての密度が高くなると考えるが、教育のレベルをどのようにして、保っていくつもりか。 	<p>えていない。</p> <p>ただし、将来的に幼稚園の在り方が見直された場合には、検討の余地はある。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 問い合わせはあるが、市が募集要領等を公表した後に、業者が判断することとなる。 • 体育館も校舎建設に併せて、新しく造ることを想定している。 • 夏の説明会では、従来方式では基本設計に1年、実施設計に1年、建設に2年かかり、最短でR10年4月に開校としていたが、2024年問題として、建設業界の週休2日制の実施や運送業など人の確保問題や資材高騰などの影響もあり、複数の業者などの話を参考にR10年4月は難しいことから、1年延ばして、R11年4月の開校を目指すこととした。 • 今回は、基本的な考え方を対象校区の方へ説明させていただいているが、基本計画を策定する中で、ワークショップやアンケートなどの方法で必要な意見をお伺いするとともに、取りまとめたものを何らかの方法で、報告したいと考えている。 • 魅力ある学校を建設するにあたって、民間活力を活かせる業者選定の方法や契約手法について、基本計画策定の中で検討していきたい。 • 小学生から中学生になると、いわゆる中一ギャップとって、学習や部活動など、しなければならぬことが増えてしまう、これらの変化を、できるだけ滑らかにしたい。 <p>また、東部小学校や金山小学校で最近、小学高学年の音楽や外国語などに教科担任制を導入している。</p> <p>その他にも小学生は、中学生の先輩に憧れを持つことで成長し、反対に中学生は小学生の模範になりたい、と思うことで成長する。</p>

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・校舎の設計ができた時も説明会はしてくれるのか。 ・西庄地区から登校してくる子どもたちの通学手段や駐車場、送迎車両の動線を考えて欲しい。 ・用地を買収するなどして、駐車場や駐輪場のスペース確保の問題を安心安全のために考えて欲しい。 ・(要望) 東部小学校に仮設校舎を建設するとなれば、その期間運動する場所が無くなるので、検討が必要である。 ・(要望) 学校北側の東西の道路は、歩道が無く、通学路が狭い。教育委員会だけでなく、市を挙げて子どもの安全を守るようにして欲しい。 	<p>最近の少子化の影響で、異年齢の子ども達と一緒に遊ぶ機会が減ってきているが、学校行事などでそういった機会を持つことが可能となる。これらのことが大きなメリットであると考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校が4校市内にあることは、坂出市の利点であり、例えば、給食の分野では、給食メニューを高校生が考えて、小中学生の給食へ提供を行っている。 高校生が瀬居中学校の廃校にあわせて、学校の木を加工して記念品を製作し、地域の人々へ贈る事業をおこなった。このように中学校と高校の連携も図られている。 ・校長は、小学校で1人、中学校で1人の配置となる。また、坂出小学校の開校時には、それぞれの統合元の学校教員も配属することで、児童への心理的フォローを行い、教育の質を高めることとした。 <ul style="list-style-type: none"> ・説明会をどのタイミングで行うか、現時点では決めていないが、何か重要な事が決まるときには、何かしらの方法で周知はさせていただきます。 ・具体的な内容については、R6 年度以降に検討していきたい。 ・相手方があることなので、買収について、具体的な話は難しいが、住民からの提案をとして、受け止めさせていただく。